

# あのととき、あしべつは

ちょっとだけ過去に寄り道散歩 ④

## 「星の降る里・芦別」宣言



「星の降る里・芦別」の名のもと、芦別観光の中枢施設としての期待を担って、1989（平成元）年に完成した芦別温泉スターライトホテル。ホテルの名称は、市民から公募して決まりました。

芦別市が鉱・工業や農業と並んで、「観光」を主要産業の一つとして加えたのは、1970（昭和45）年に策定した第1次芦別市総合計画が始まりでした。その後、民間のシンクタンクによる「観光診断」を経て、東京に本社を置く広告代理店に大規模観光開発構想づくりを委託しました。

そこで生まれたのが、「星の降る里・芦別」のキャッチフレーズで、1984（昭和59）年12月に、「星の降る里宣言セレモニー」が大々的に行われました。

カナディアンワールド事業は、さまざまな教訓を残しましたが、「星の降る里」の名は、芦別観光を全国にアピールするものとして、あらゆる場面で使用されています。

1983（昭和58）年～1992（平成4）年	
芦別市内での主なできごと	
1983（昭和58）年	もともち公園（市庁舎前）に「ふれあいの噴水」が完成（8月）
1984（昭和59）年	「星の降る里芦別」宣言（12月）
1985（昭和60）年	北日本自動車工学専門学校（現北日本自動車大学校）が開校
1986（昭和61）年	ダム建設に伴う滝里町開町式挙行（8月）
1987（昭和62）年	芦別市が環境庁から「星空の街」に選定される（12月）
1988（昭和63）年	市立芦別病院が全面改築され、新院舎での診療開始（3月）
1989（平成元）年	芦別温泉スターライトホテルがオープン（11月）
1990（平成2）年	カナディアンワールドがオープン（7月）
1991（平成3）年	芦別市国際交流協会設立（5月）
1992（平成4）年	三井芦別炭鉱が閉山（9月）
北海道内外の主なできごと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ディズニーランド開園・大韓航空機撃墜事件（1983）</li> <li>・江崎グリコ社長が誘拐される（グリコ・森永事件の発端）（1984）</li> <li>・日本航空123便が群馬県御巣鷹山に墜落、520人死亡、4人が奇跡的生存（1985）</li> <li>・旧ソ連・ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所爆発事故（1986）</li> <li>・国鉄が分割・民営化（1987）</li> <li>・青函トンネル開通（1988）</li> <li>・昭和天皇崩御、平成に改元・消費税3%実施・ベルリンの壁崩壊（1989）</li> <li>・東西ドイツ再統一（1990）</li> <li>・ソビエト連邦崩壊（1991）</li> <li>・毛利衛さんがスペースシャトルに搭乗（1992）</li> </ul>	

## 指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で私が考えた大切にしてほしい言葉です。

No. 16

収穫の秋を迎えた途端、雨の日が続きました。夏の好天候に恵まれて育った作物に影響が少ないことを願って止みません。

9月は敬老会が市内各地で開催され、私も時間の許す限り出席して元気な皆様方と懇談させていただきました。芦別市の人口に占める65歳以上の方の割合は4割を超えま

たが、高齢者の皆さんが元気に暮らしていただけることはとても喜ばしいことで、私は決して悲観していません。日本全国が人口減少傾向にある中で、芦別市としては「福祉や子育て」にやさしいまちを目指していこうと考えています。

9月議会においては各種手数料・使用料の値下げと軽自動車税・固定資産税率の引き下げを提案させていただきました。現在、市議会において審議していただいているところですが、少しでも市民の皆様が暮らしやすく住みよい芦別になるように、可能な生活支援策を引き続き行っていきたいと考えています。

（平成25年9月24日・記）

芦別市長 清澤 茂宏

9月6日、総合福祉センターで開催した芦別市敬老会で、お元気な皆様方にごあいさつさせていただきました。

